



人間系コロキウム

# 筑波大学 人間系コロキウム

## 人間系研究支援プログラム採択課題 研究成果報告会

### 第16回

2015年

4月22日(水)  
16:00~18:30

2B208講義室

共催

人間学類35周年記念事業

お問い合わせ

人間系研究戦略委員会  
(コロキウム運営担当)

✉ research@human.tsukuba.ac.jp

#### 講演1：家庭と学校の効果的なパートナーシップのあり方 に関する基礎的研究

筑波大学人間系心理学域 准教授 飯田 順子

不登校や学力不振等の問題に取り組む上で、家庭と学校の連携の重要性が指摘されている。一方、教師が家庭と連携することに対してどのような意識をもっているか（パートナーシップ意識）、また具体的にどのような行動をとっているか（パートナーシップ行動）を実証的に研究しているものは少ない。本発表では、パートナーシップ意識とパートナーシップ行動を測定する尺度開発の結果とこれらの要因と教師のメンタルヘルスとの関連について発表する。

#### 講演2：認知症の本人と介護者の国際的なQOL尺度 (DEMQOL) に関する日本版の作成及び信頼性・ 妥当性の確立に向けた実践的研究

筑波大学人間系障害科学域 特任助教 河野 禎之

本研究は、認知症ケアにおける健康関連QOLの評価尺度であるDEMQOLの日本版作成に向けた予備的研究の結果を報告する。複数の専門家による翻訳と逆翻訳および臨床群40名を対象とした予備研究の結果、尺度の信頼性と妥当性ととも、項目の修正点も確認された。これらを踏まえ、本調査に向けた日本版の作成が完了した。

#### 講演3：妊娠・授乳期のステロイドホルモンが雌マウスの 養育行動に及ぼす影響とその神経基盤

筑波大学人間系心理学域特任助教 永田 知代

人間関係（絆）の形成は、「共生人間科学」において重要なテーマであり、その始まりは母子関係にあると考えている。これまで母親からの働きかけ（養育行動）に着目し、基礎研究の立場からその脳内機構の解明を目指してきた。本発表では、雌マウスの養育行動に重要であるエストロゲンの脳内作用メカニズムに関する研究について報告する。

Education

Psychology

Disability Sciences